2021.2.25

今後の幹事会開催についてのアンケート結果（最終）

■回答率

幹事数	回答数	回答率
142	43	30.3%

■幹事会開催時期について（複数回答）

	回答数	割合
緊急事態宣言が解除されたら	18	36.7%
大阪コロナ信号が青になったら	14	28.6%
ワクチン接種後	5	10.2%
その他	12	24.5%
回答計	49	

※その他意見

まずはZoom高津生は全国にいます。年一ぐらいで高津高校
同窓会は発症時のリスクが高い人も参加をしたいものだと思うので、具体的に基準とするものは難しいが、対面での幹事会は「外出時のマスクの使用」が必須でなくなるぐらいの時期が適当だと思う
すぐにでも開催する
皆様の意向に従います
誰もが安心して集まれる条件定義をしてこれに従って開催する。
オンラインで開催する
3月以降で、情勢次第
コロナが収まるまでは行わない
オンラインであれば時期を気にしなくても良いと思います。
.感染そのものが落ち着いてから。政府が収束宣言するのを目安にする等
ユックリの判断
幹事がただ集まるだけで幹事が同期を集約する力がない

■幹事会開催方法（複数回答）

	回答数	割合
集まって開催	16	31.4%
オンラインで開催	7	13.7%
オンライン＋少数	18	35.3%
その他	10	19.6%
回答計	51	

※その他意見

集まる人は集まる、zoomの人はズーム、コラボで
本来ならば集合しての開催が理想です。しかし当面、オンライン導入もやむなし。
1学年の代表人数を減らすことで密にならない人数で集まる
誰もが安心して集まれる条件定義をしてこれに従って開催する。
高校での参加とZOOMの併用
オンラインと集合を選択できるようにして開催
レポート中心、質問事項は個別に受け一括でメール又オンラインで返事する
ワクチン接種を前提に
幹事に期をまとめる仕事をさせること
広い会場で、席を空けて着席する

■自由意見

私は関東なので幹事なのに参加できていません Zoomなら全国・海外のメンバーも参加できるし、高津に集まりたい人とのコラボもできると思います
幹事が管理者となってZOOM同窓会をする。 (ZOOMに掛かる料金は、同窓会負担で後日請求できるようにする)
現時点では各幹事さんに、それぞれの期・クラブ内での小さなグループからの活動を奨励して、その報告を定期的に群芳ホームページや同窓会FB・ツイッター・メルマガなどで紹介する。 コロナ禍はもうすぐ1年になりますが、ワクチン接種することによって大きく意識が変わると期待しています。
各期の同窓会活動も中断しており、活動状況も集まらないと思うので、 自分たちの高校時代の思い出を随筆風に書いた文章を募集するとか、当時の写真を集めて群芳に載せるなどをしたら、読む人が多いのではないでしょうか？
春になって、会議室の窓を解放しながら会議ができる状況になってから、席の間隔も確保しながらやれば良いのでは？ 会場参加を基本としてオンライン参加も可能とする方法が良いと思います。
テーマ別にオンライン同好会を立ち上げ会員を増やしていく。
役員の皆様、ご苦労様です。 ZOOM参加などを活用して、このコロナ禍での生き方、勉学など高校生の悩みや生活実態、意見交換などもいいのでは・・・。
SNSなどインターネットを通じて？ 直接は集まれないと思う。
顔を合わせての会合は難しいかと思います。同期会もこのままでは無理ですね。 今は「じっと我慢」が第一かと思います。
極力オンライン中心に、現場では密にならない程度 事前来館出欠をとる
幹事会や総会などの行事は、コンテンツをつくって頂いて 一方的に流していただくだけでも価値があると思います。
まず各期で同期の仲間に電話でも、ラインでも、メールでもいいんですが、連絡を取り合うことだと思います。 隗より始めよということだと思います。
親しい友人とも会うのもままならない状況で、同窓会の活性化．．． 現実的に考えがおよびません。
メール等で情報発信もしていただき、役員・事務局の皆様には感謝です。 バレーボール部出身の役員さんもいてたいへんありがたいです。 私たちのOBOG会でも、コロナ禍の中で予定していた行事もなかなか実施できずにいます。その中で役員担当の呼びかけもあって、世代ごとの集まり(年齢層は高い?)も少しずつ実現しています。私自身もそうでしたが、仕事に少し余裕ができ、OBOG会にも参加できるという方もおられると思います。次を担う若い世代への継承や情報提供が課題になっています。私たちの世代では私も含めて使いこなせないということはありますが、SNSの活用がカギになるのかとも思っています。 何かとご苦労をおかけしますが、どうぞよろしくお願いします。
参加の都合が付きやすく、かつ関東との連携なども考えると、オンラインによる会議参加方式は今後も継続した方がよいと思います。 それと、基本的なことを蒸し返して恐縮ですが、周年イベントという分かりやすい柱がなくなったので、全学同窓会を束ねて行うメインテーマを強く打ち出した方がよいかも知れません。 日常的に交流する必要性が低く、世代、年齢、居住地域のギャップもあるので、具体的に何が求心力のあるテーマか、提案しにくいのですが、よろしくお願いいたします。
高津とは別に、大学の同窓会の理事長をしております。 昨年はオンライン会議･同窓会等をしました。ご参考までに。
何もかもを中止することは停滞を意味しますので、オンライン等を活用しながら、情報を発信・収集することは大切だと思います。 卒業生の集まりは、このご時世、ちょっと難しいですので、高津高校や現役高校生の現状、コロナ対策について発信し、それに対して支援等が必要なら、同窓会が援助する、というような活動を行えばよいかと思います。「高津のために」と考える卒業生は多いのではないでしょうか。
オンライン会議での参加が可能な方を対象にできるだけ短周期で幹事会を開く

学校は大学入学試験・新入生入学試験にて多忙な日々。同窓会長も同調
緊急事態宣言であるのであわてず、コロナ予防に徹して活動はしばらく休止等でもよいかと思います。
母校愛を育てる種をまけ！ 同窓会事務所がなかった時でも会は活発に活動できた。それは各学年幹事が名簿を作るため同期の動向を把握していたからで今はタテヨコの繋がりなく執行部の意見だけで動いている。これでは未来はない。守秘義務とか名簿作成をしなくなって幹事が幹事の仕事をしていない。名簿にのせたくない人は書かなくともよい。名簿を出し活かす学校を見ならって、一度幹事が労力を惜しむ。執行部が同調しメンドクサイで同窓会存在意義がなくなる
ワクチン接種が始まり気温も上がればコロナも落ち着くでしょうか。 同窓会員の皆さまのご意見をうかがいながら、世代ごとや世代を超えた色々な企画をたてて楽しめる同窓会活動になれば良いなぁと思います。
コロナに対する考え方が人によって大きく違うためどうしても集まることが難しいと思われます。 しかし、オンラインでの開催はとてもわかりにくく良くないと思っています。 学校に集まれるためにはかなりの終息が必要かもしれません。 個人的にはいつでも参加したいと考えています。
期ごとの交流には、HPページやメーリングリストの活用が有効であると感じていますが、 たとえば事務局で把握している同窓生のメールアドレス等の最新情報を、各期事に分けて、各幹事に公開してもらえると（出来れば1年に1回位のペースで？）、各幹事は自分が持っている情報と合わせて整理することで、各期内での情報交換と交流促進に役立つのではないかと思います。
回答が遅くなりました。 幹事会や討論会も、初めての人や久しぶりの人が多いと思いますので、まずは多くの参加が見込まれそうなオンライン会議（＝これなら緊急事態宣言でも赤信号でも可能です）から始めてみて、次に対面でするというのはいかがでしょうか？ コロナ禍で人との交流も制限されるなか、同窓会は、普段は意識しないけれどちょっとした心の拠り所、心の支えのような存在になり得ると思います。ホームページにしても会報にしても、もっと幅広い同窓生に近況報告や高津高校への想いなどを投稿・寄稿してもらうなど、できることから交流を活性化させていき、同窓会の意義を高めていきたいですね。 また意見交換の場などで少しでもお役に立てればと思います。